

大ヶ谷戸 こだなか

会町中田小戸ヶ大
責任者 志村 勝
発行

新年を迎えて



町会長 志村 勝
新年明けましておめでとう
ございます。

皆様にとつて本年が、よりよ
い年になりますよう、心より
お祈り申し上げます。常日ご
ろ、町会の諸活動にご理解い
ただき心より御礼申しあげま
す。皆様がお元気で安心して
暮せる町をめざし、さまざま
な取り組みを進めてまいりた
いと考えております。皆様の



声が町内会に生かされますよ
う役員一同、本年も頑張つてま
いりますので、なお一層のご理
解とご協力をよろしくお願
い申し上げます。

さて、各部が主体となり行
つてきた美化活動については、
「環境にやさしい町、小田中
町会」を目標に、みんな協
力し進めてまいりたいと思いま
す。昨年は、リサイクルの推
進などにも取り組んでは、と
のご意見もありましたが、具
体的な動きが町会としてはで
きませんでした。本年は行政

とも連携を進め、取り組ん
だりしたいと思いますので率直
なご意見をお寄せくださいま
すようお願い申し上げます。

最近、ひつたくりによる犯
罪が後を絶たず中原区内で、
平成21年は76件発生しています
(11月30日現在)。その被害
の多くは高齢者や若い女性で、
夜間二人乗りのバイクによる
犯罪が多数を占めています。

また、空き巣の被害も増
加しています。町会とし
て防犯意識を高め、さら
に安心安全な町づくりを
目指してまいりたいと思
います。

一方、すみれ会・子供
会の皆さんの活躍が中原
区内や大戸地区内で評価
されています。わが町の
誇りであり、町会の皆様
とご一緒にしっかりと支え、
応援してまいりたいと思
います。

なお、恒例の町会行事
をはじめ、役員研修会
の実施や、大戸地域としてのお
祭り、盆踊り等の取り組みに
もしっかり対応してまいりたい
と思っております。ご理解ご協
力よろしくお願ひ申しあげま
す。

終わりに、皆様のご家族に
とつてこの新しい一年が健やか
で最良の年となりますよう心
よりお祈り申しあげ、年頭の
ご挨拶とさせていただきます。

防犯意識を高め安全な町に

身も心もさわやかに

「女性みこし」。普段しとやかな女性
の皆さん達も、秋祭りにおそろいのエプロン
姿でハッスル！ 素敵でした。



大きな声で「ウッショイ！」

未来ある子ども達。「うーん重い！」最初は
はさかしそうに、徐々にかけ声、力を合わせ
楽しそうに担ぎました。

イキなハッピー姿で

うらかな秋の陽気の日。昨年もまた、力
強くかっこいい大人みこしの威勢のある声と
迫りに活気づきました。

マイタウン ハイライト

小田中町会の行事を、
活気あふれたイベントの
中から写真でお伝えします。

太鼓のリズムで舞う

早い時間からたくさんの人
が集まり、例年以上に大盛況
の夏の夕暮れ。カラフルな浴
衣姿の乙女達、大人の舞い踊
る姿を見ながらにこにこ！と
ても上手に踊れました。



ドカーンと貫禄の一発！

恒例のソフトボール大会が、
6チーム編成で、10月12日、
大谷戸小学校校庭で開催され
ました。



お互いの親睦を深めながら
も息を呑むクロスプレーや特
大の一発、華麗な美技などが
飛び出し、真剣勝負を楽しみ
ました。熱戦の末、4部のチ
ームが優勝に輝きました。



和気あいあい・紅葉の旅

10月21日、すみれ会は恒例
の親睦旅行・伊東温泉へ。秋
の車窓の景色とおしゃべりを楽
しみました。家族へのお土産
は干物など。
童心に返り、旅の思い出が
またひとつ増えました。



おめでとう 準優勝!!

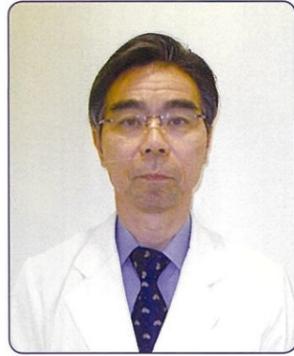
わが小田中野球部が、秋の
中原区の大会で、日ごろの練
習の成果を発揮し、準優勝に
輝きました。来季の優勝を期
して記念のカメラに。
(9月、多摩川河川敷)



新型インフルエンザの対応策

おばな内科クリニック院長 小花 光夫

冬本番を迎え、新型インフルエンザが各地で流行しています。その対応策について、おばな内科クリニック院長、小花光夫氏にアドバイスしていただきました。



インフルエンザが重症化することがあるとされていますので、感染予防に心がけましょう。

くしゃみの際は「咳エチケット」を

今回の新型インフルエンザは、元来は豚がかかるA型インフルエンザウイルスが突然変異をおこしてヒトにも感染して、さらにヒトからヒトへも感染するようになった従来には見られなかった新しいインフルエンザウイルス(A/H1N1)による感染症です。

新型インフルエンザの症状は、突然の高熱、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、倦怠感に加えて、咳、鼻汁・鼻閉、頭痛などであり、季節性インフルエンザとほぼ似ています。幸いにも新型インフルエンザが季節性インフルエンザよりも重症化しやすいという事はなく、大部分の方が軽症で快復していますが、かたやすでにわが国でも100人以上の方(平成21年12月5日現在)が亡くなっており、持病がある方などでは、治療の経過や管理状況によっては重症化する可能性もあります。したがって、慢性呼吸器疾患、心疾患、糖尿病、腎臓病、ステロイド内服による免疫不全のある方など、さらに、妊婦、乳幼児、高齢者も

丹念に手洗い・うがいの励行を!!

経路は季節性と同様で、咳やくしゃみとともに放出されたウイルスを吸い込むことでおこる飛沫感染と、ウイルスが付着したものをふれた後に目、鼻、口などに触れることで、粘膜・結膜などを通じておこる接触感染が考えられます。それゆえ、感染を予防するためには手洗い、うがいを励行することが大切です。また、ウイルスが粘膜を通して感染するので、極力鼻や口などを触らないようにします。咳、くしゃみの際の「咳エチケット」も感染防止の上では大切であり、咳やくしゃみのある人には必ずマスクを着けてもらいましょう。

予防用にマスクを着用することも混み合った場所、特に屋内や乗り物など換気が十分な場所では一つの感染予防策となります。咳や発熱などの症状がある人には近づかない、人混みの多い場所に行かない、手指を清潔に保つといった感染

予防策を積極的にに行いましょう。

発熱に、咳や咽頭痛などの急性呼吸器症状を伴っており、迅速診断キットでA型が陽性となれば、まず新型インフルエンザ感染が疑われます。確定診断のためのPCR検査は通常は行われません。治療としては抗インフルエンザウイルス薬(タミフルあるいはリレンザ)が投与されます。また、症状を緩和させるために解熱薬や鎮咳薬なども処方されます。家人が新型インフルエンザで自宅待機となったときには、患者はなるべく家族とは別の個室で静養することとし、マスクの着用や「咳エチケット」を心がけてもらいます。家族全員が手洗い、うがいを徹底し、マスクを着用して、患者の看護をした後は必ず石けんにによる手洗いを行いましょう。

予防効果にワクチン接種も

最後に、インフルエンザワクチンについては、新型・季節性を問わずに発症を100%は防げないものの、少なからずの予防効果があり、万一、発病した場合には症状を軽減してくれるので、ぜひとも接種されることをお勧めします。

新型インフルエンザ接種についてはまだ流動的ですので、最新の情報を川崎市のホームページにてご確認ください。
(<http://www.city.kawasaki.jp/>)

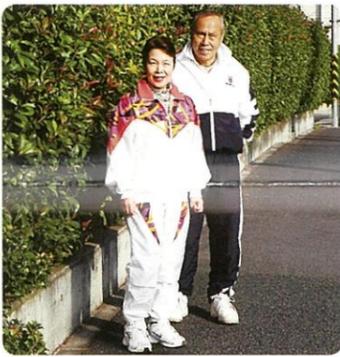


私の健康法

婦人部相談役 齊藤 公子

私は毎朝、主人と一緒にウォーキングをしています。主人が定年を迎えて、朝の忙しい時間から開放されたことがきっかけとなりました。また、以前からウォーキングを始めたものの思いもあつて、主人と相談。健康のためにも、と始めることにしたのです。

早朝5時半ごろ二人で家を出ます。二ヶ領用水から第三京浜の下をくぐり、多摩川の土手に出て、宮内を通って自宅に戻るコースです。ちょうど1時間、歩数にして7500歩、約5kmの道のりです。この地に住んで40数年にな



夫婦で楽しむウォーキング

りますが、主人が在職中は四季折々の花が咲き、朝日が昇る美しい情景を、じっくりと見たことがなかったように思います。

ことわざに「早起きは三文の徳」とありますが、本当にそうですね！ウォーキングをしていると、いろいろな人達との出会いも楽しいものです。特に印象的なのは、犬を散歩させているおじいさんです。犬がおじいさんを気遣っている姿がとてもほほえましいのです。毎日の散歩の楽しみでもあります。

わが町の栄え

中原工業組合相談役 加藤一男さん

気さくで柔和な人柄。職人として命がけで精進を重ねた輝きを放つ眼光、張りのある声。大正2年生まれの96歳。脳血栓を患い右半身不随だが、「人生の達人」の風格がある。14歳で、目黒の職人に弟子入りした。「わしの家から目黒まで自転車で通い、10時間働いて手賃が1円だったね。」

修業7年、お礼奉公1年を経て「鳶加藤」として独立。「現場の華」とも称される職の仕事は掘削、基礎工事、足場の架設など幅広い。加藤さんの特に優れた技能は石や建物の、肉眼による重量測定。「机上の計算以上に信頼性がある」と仕事仲間には尊敬する。更に真骨頂は、都市開発や区画整理、改築のために建物をそのまま持ち上げて移動・移設する「曳き屋工事」だ。東急線開発の折に移動した家は、今でも立派に残っている。その腕を買われ、鎌倉市の円覚寺の国宝・開山堂の移設も加藤さんが手掛けた。



を生き、鳶業界全体の技術の向上・発展のために、後進の指導育成にも尽力。自宅の広場を神奈川県鳶工技能検定実技試験会場として開放。県鳶工技能検定大会競技委員、県鳶工技能検定委員長、関東鳶工業連合会理事兼技能部長等の重責を担い、後進技能者の育成に力を注いできた。教え子の若手職人の中からは、技能五輪全国大会(鳶部門)の優勝者も誕生させた。

一方、長い経験で得た技能

編集後記

※加藤一男さんが鳶工の技能検定の推進を通して育てた若き指導者は数千人。後継の人材育成こそ、輝く未来を約束し最高の誉れの人生と痛感。 ※新型インフルエンザでウイルスの拡散防止に「咳エチケット」

のマンナがある。みんなでマナーを守り、他者を気遣う心を養い、思いやりのある街づくりを推進していきたい。 ※新年の門出にあたり、自身の健康維持・促進のために、齊藤ご夫妻の「私の健康法」にならない、何か一つ、自分なりの体力づくりに挑戦してみたいかがでしょうか。